

# 「スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケート」2023 の考察について

回答が得られた人数・回収率(小数点以下四捨五入)

〈保育園保護者アンケートより〉

保育園 未満児 164 人

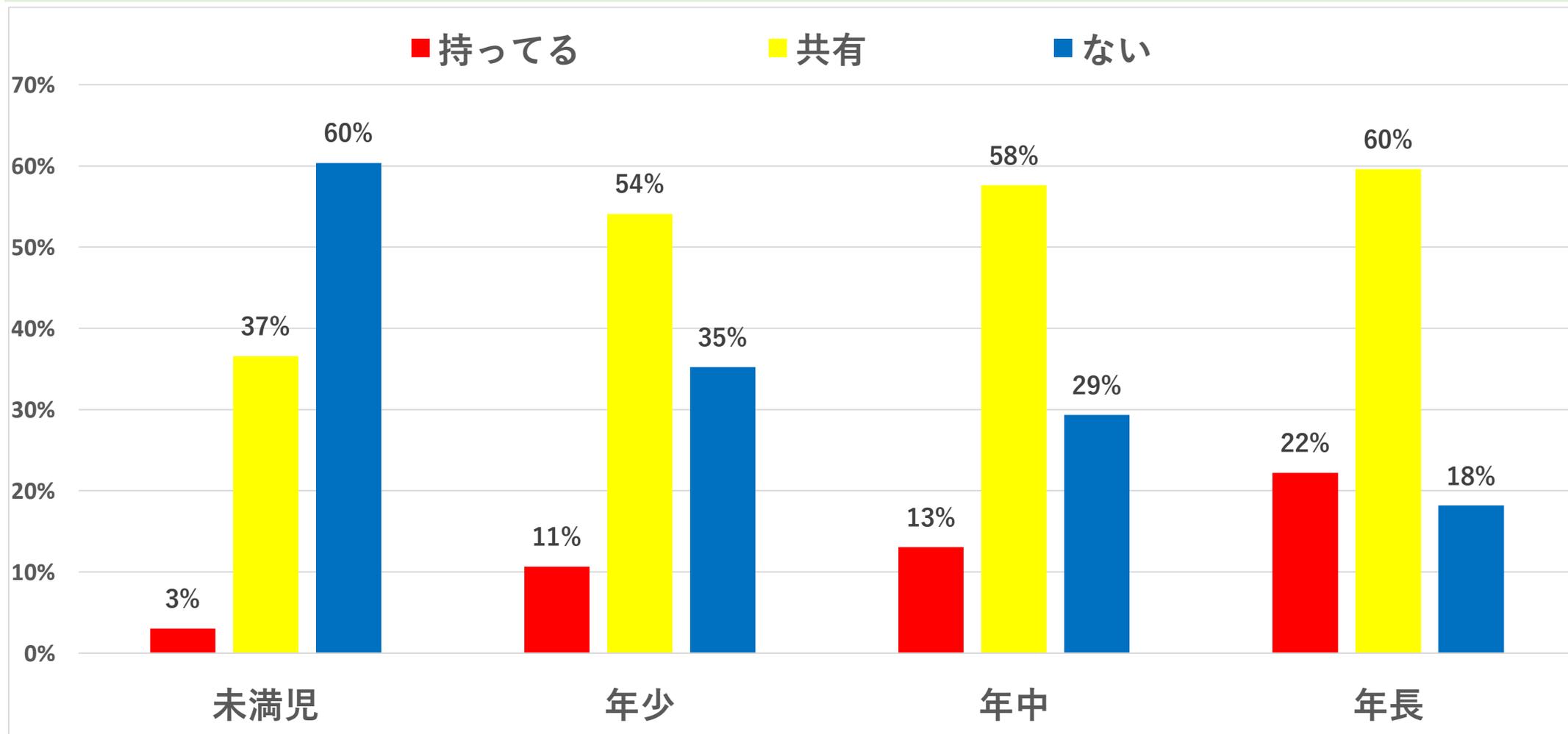
年少 122 人

年中 92 人

年長 99 人

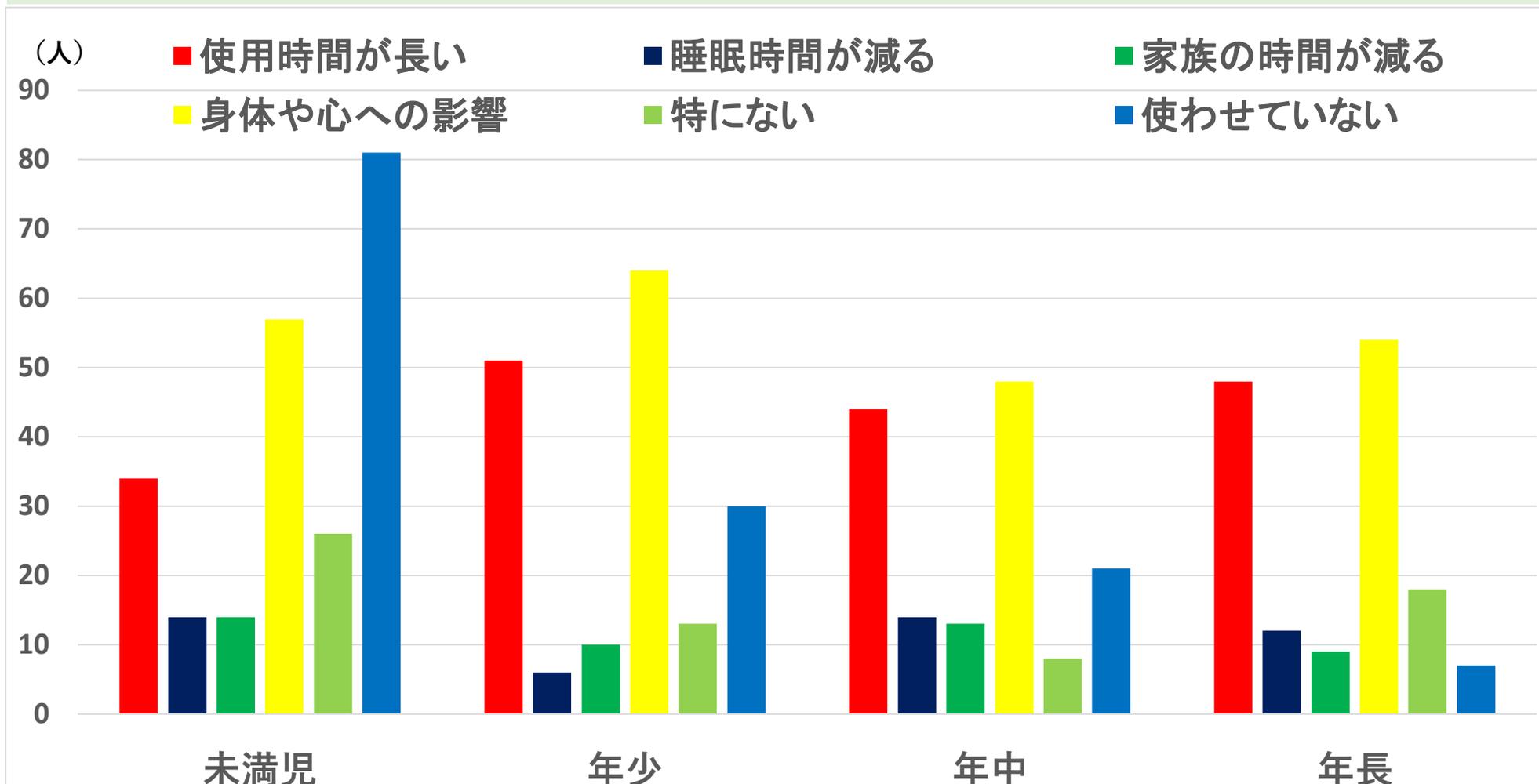
477 人(回答数)/2,336 人(全園児数) 回収率 20%

## 問①お子様が使えるゲーム機や、ゲームができるタブレット(アイパッド等) ありますか？



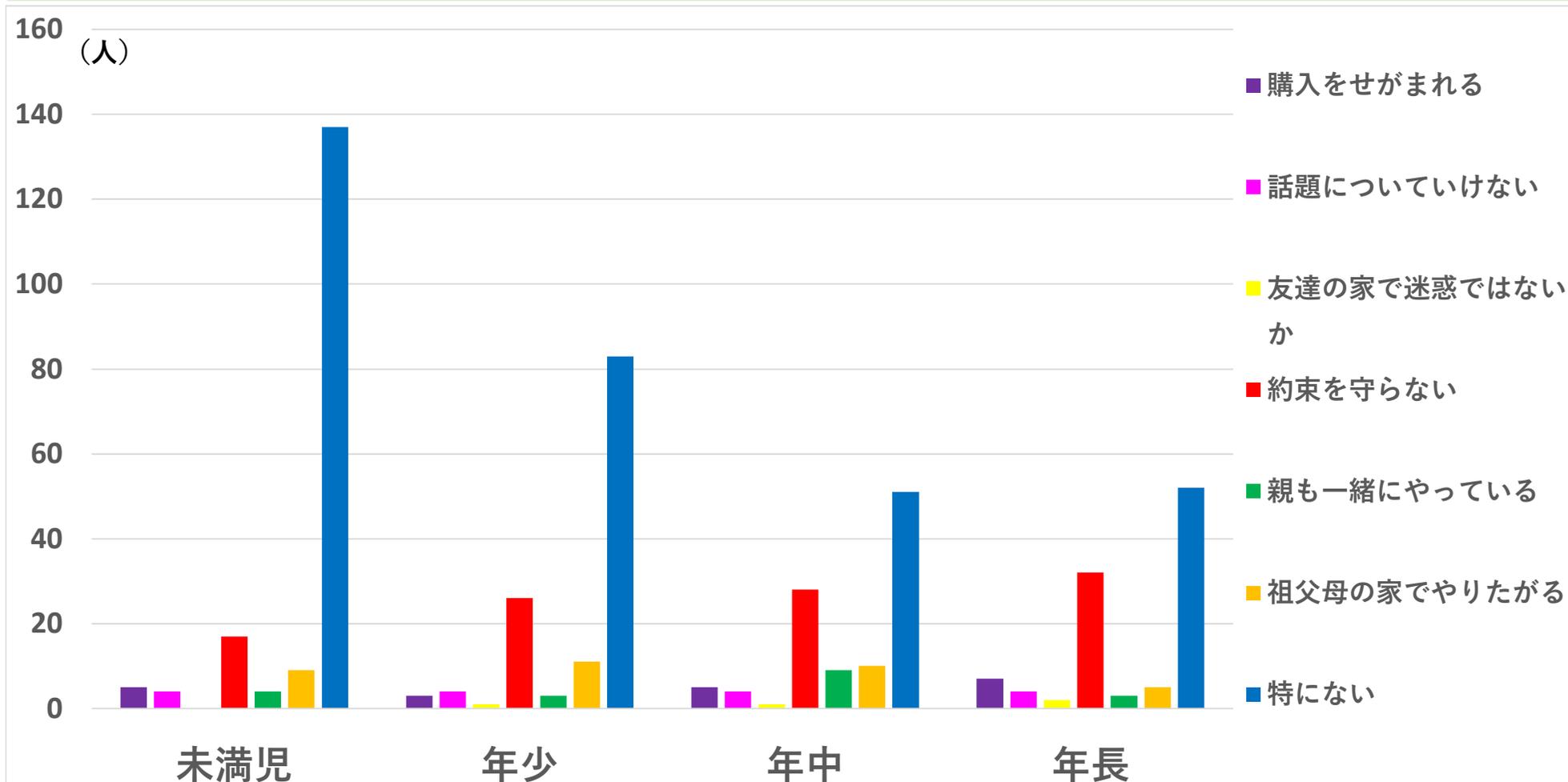
共有で使える子どもが多く、未満児で40%ある。年少から年長では「持っている」「共有」を合わせると60~80%と増加し、何らかの形でゲーム機に触れている状況がわかる。

## ②お子様がスマホ、タブレット、ゲーム機等を使うことについて心配なことはありますか



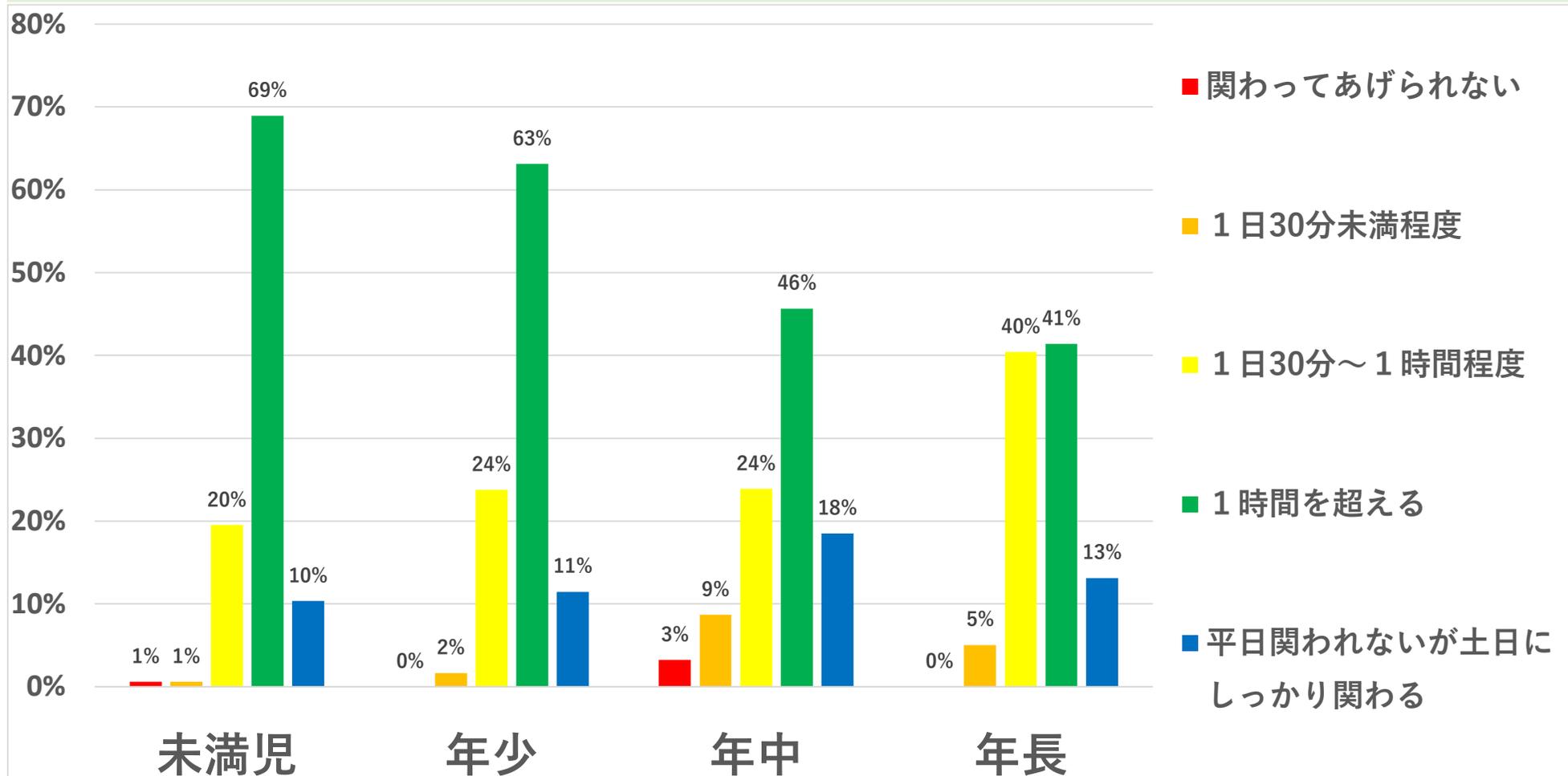
「使わせていない」という回答が未満児では多いが、年少から子どもの使用が増えていくことがわかる。低年齢からの使用は、メディア機器が生活に欠かせないものとはいえ心配である。「身体や心への影響」を心配する保護者も多い。

### 問③その他、対応に困ることなどありますか？



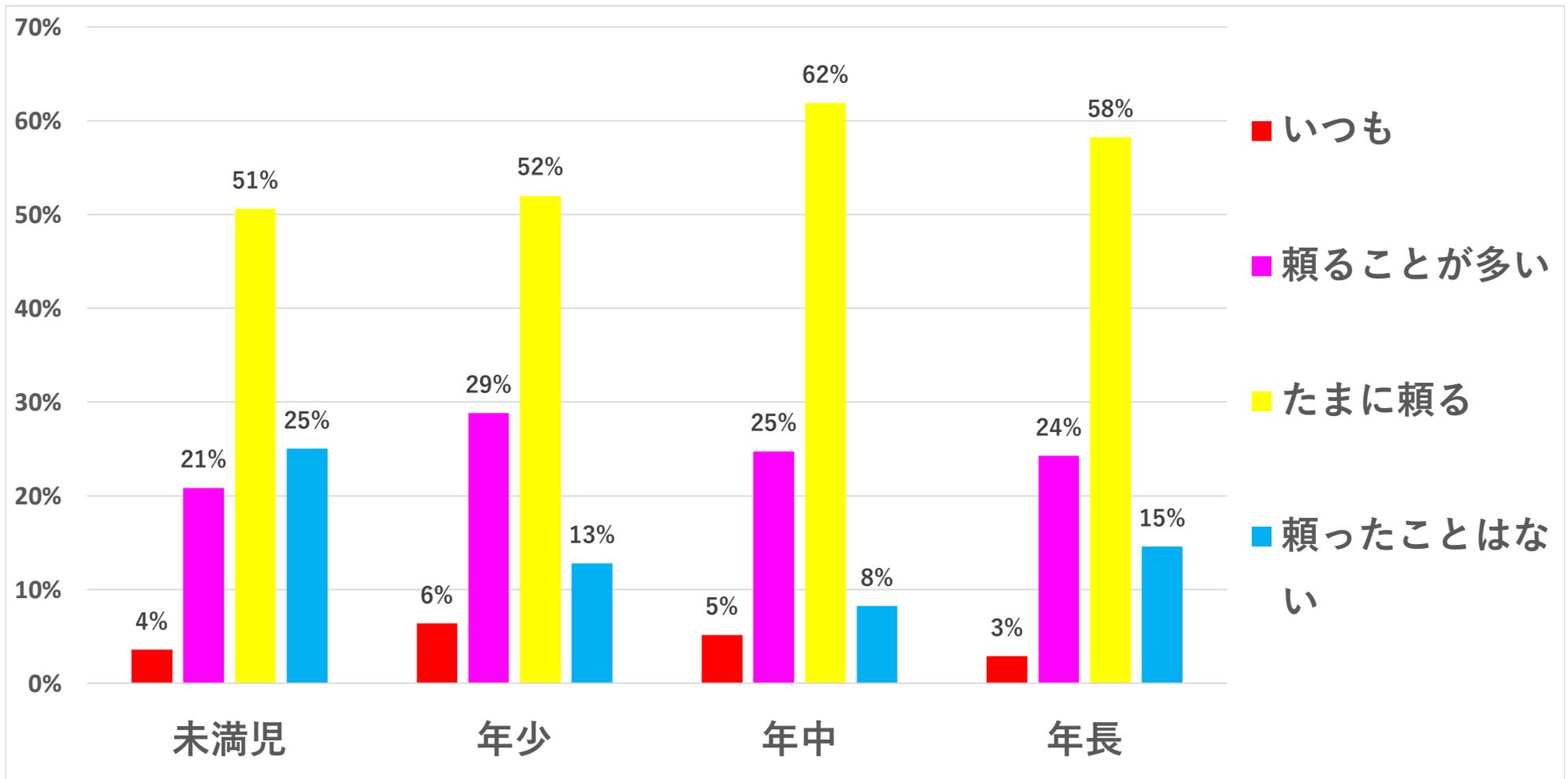
ほとんどの家庭で対応に困ることは「特にない」と回答。次に「約束を守らない」が未満児から年長まで増加傾向にあり、未満児から親が子どもをコントロールすることに、課題を感じていることがわかる。

## 問④ お子様とのふれあう時間についてお答えください。



1日1時間以上子どもとのふれあう家庭が最も多く、短時間でも子どもとのふれあう時間を持つようとしている状況がみられる。平日に時間が取りづらい家庭は、土日などの休日にしっかりと子どもと触れ合う時間を生み出している。

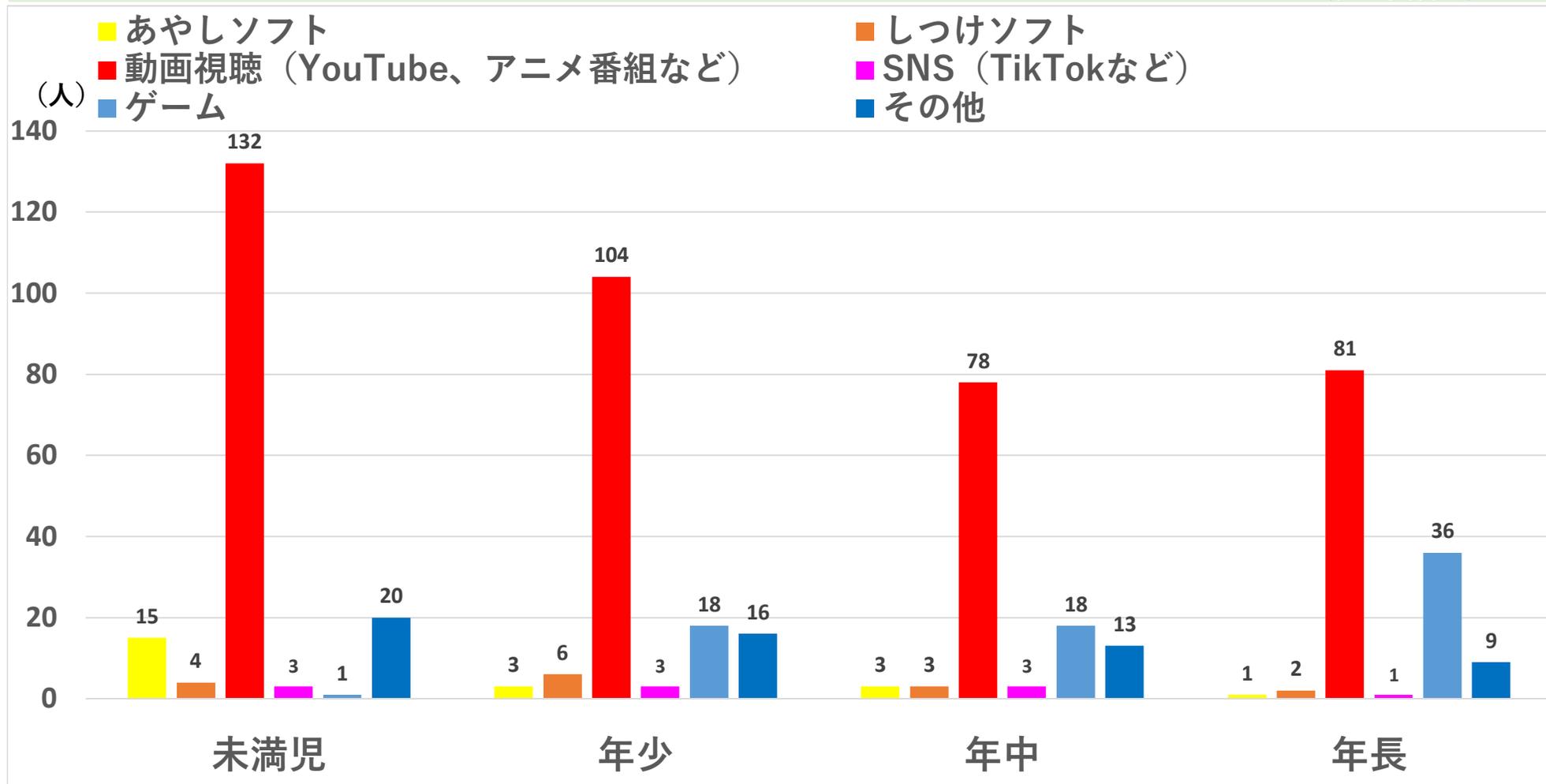
問⑤-1最近の1年以内で、子どもを落ち着かせたい時や言うことをきかせたい時に、スマホ・タブレットやゲーム機等に、頼ったことはありますか？



7割の保護者は「たまに頼る」「頼ったことはない」と回答。「いつも」「頼ることが多い」がほとんど横ばいなことから、メディア機器に頼らない子育ての啓発が必要と思われる。

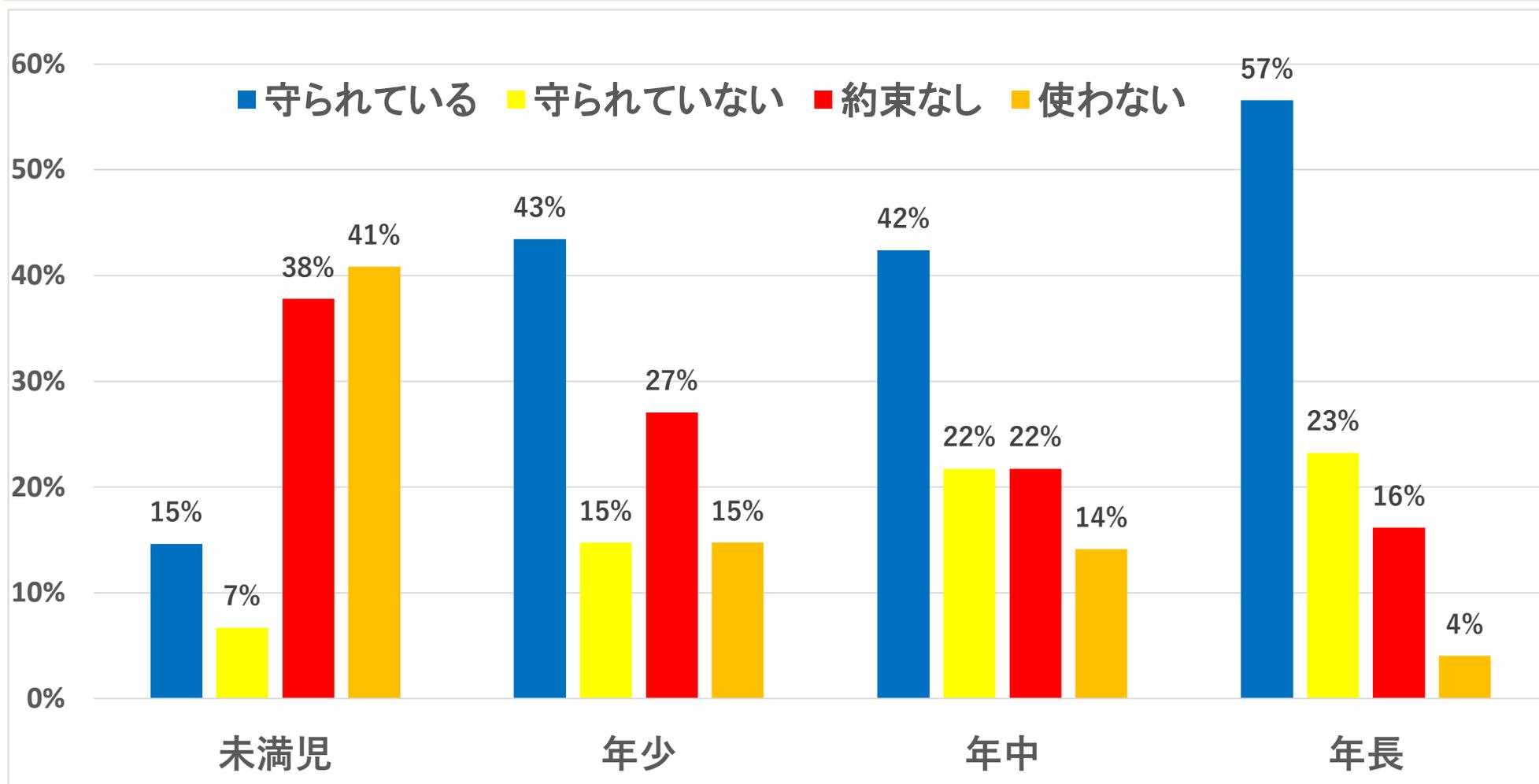
### 問⑤-2スマホ・タブレットやゲーム機に頼ったとき、どんなソフトアプリに頼りますか？

(複数回答可)



どの年齢も動画視聴が断トツである。長時間の視聴を避け、なるべく大きな画面で見るなど注意してほしい。

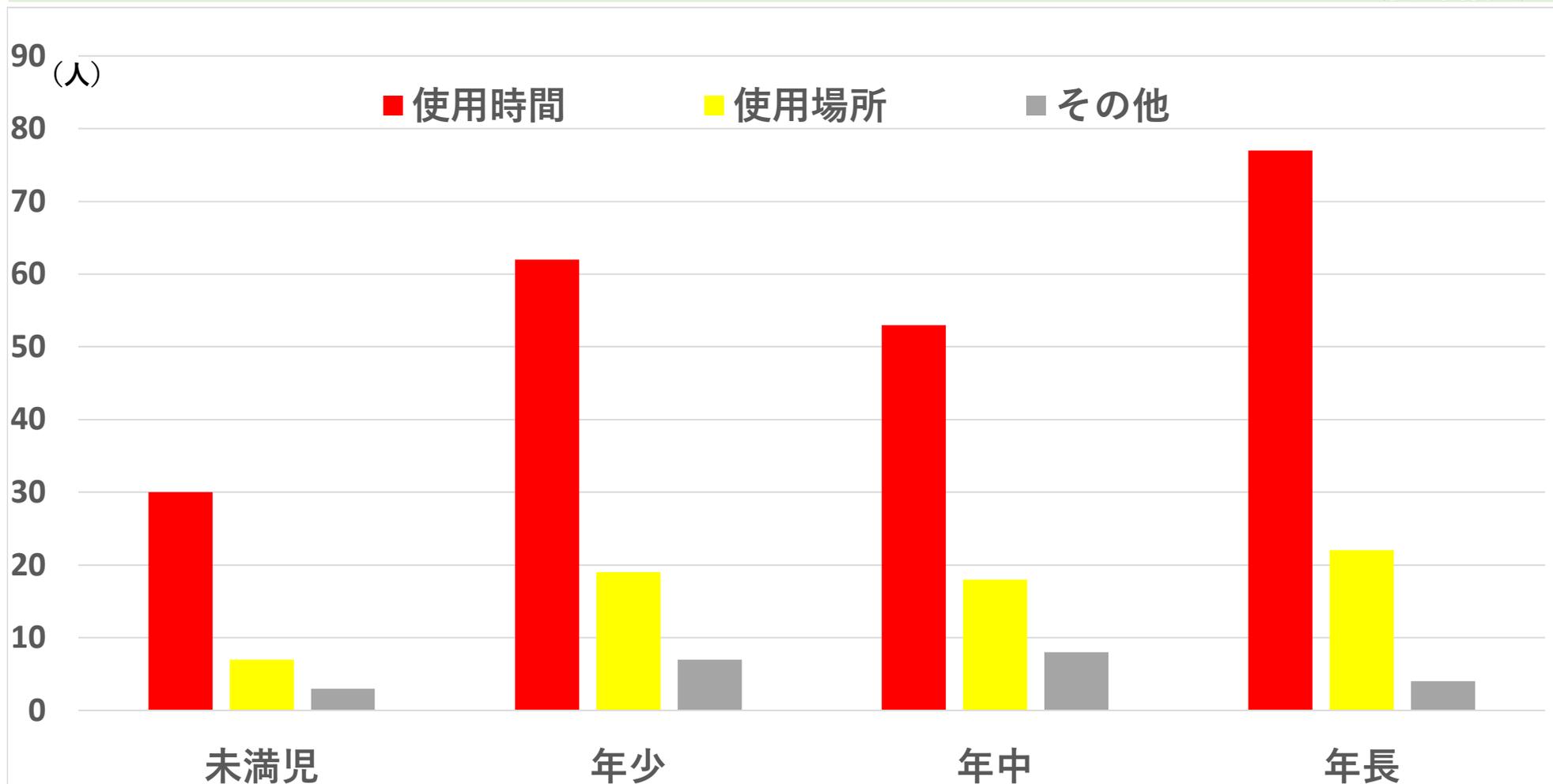
## 問⑥タブレット、ゲーム機を使うときの子どもとの約束はありますか？



未満児では約束自体が難しい子どもが多いのではないかとと思われるが、年齢が上がるにつれて「約束なし」は減って「守られている」が増えている。未就学児から約2割の子どもが「守られていない」ことは残念である。

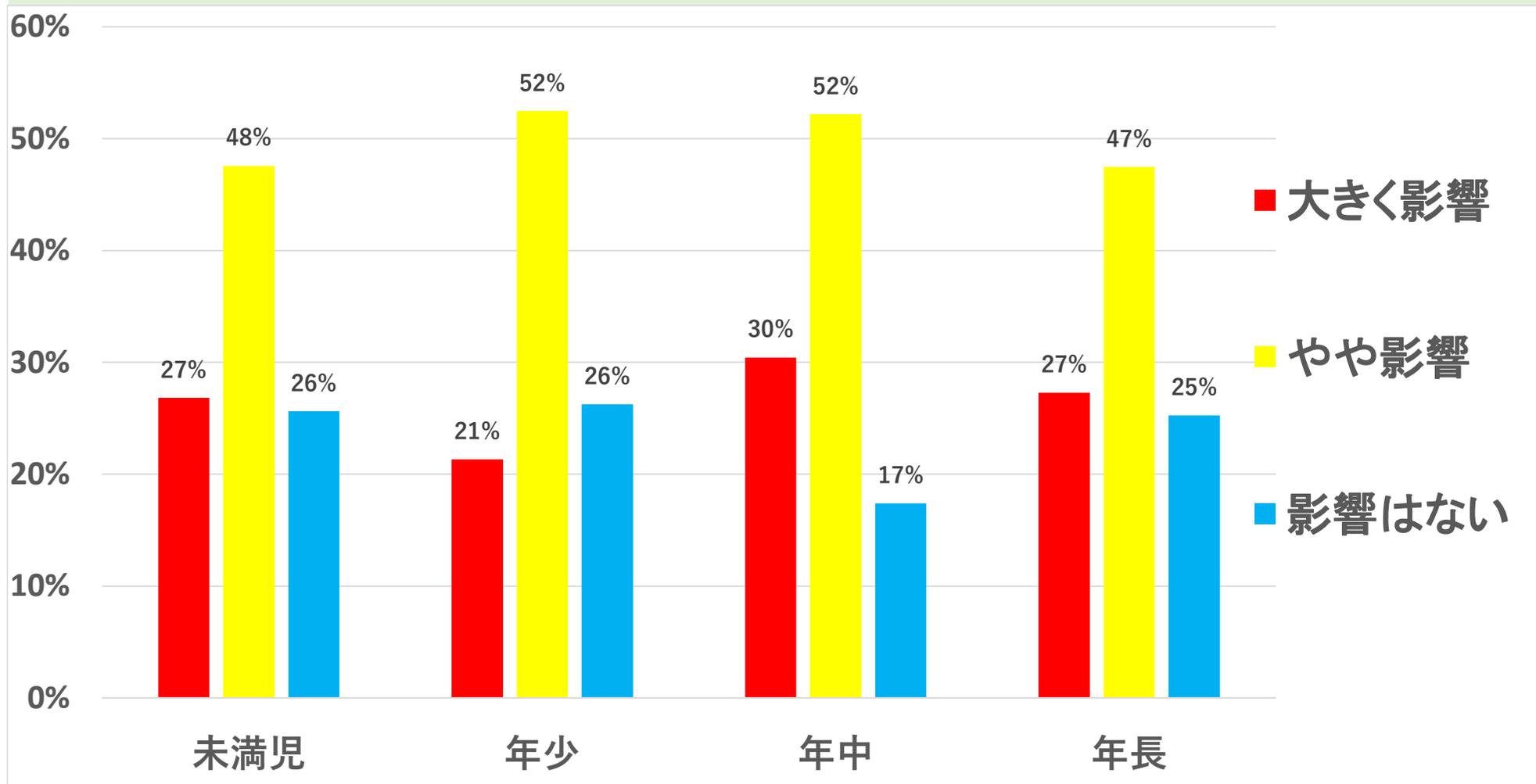
## 問⑥-1タブレット、ゲーム機を使うときの子どもとの約束は何ですか？

(複数回答可)



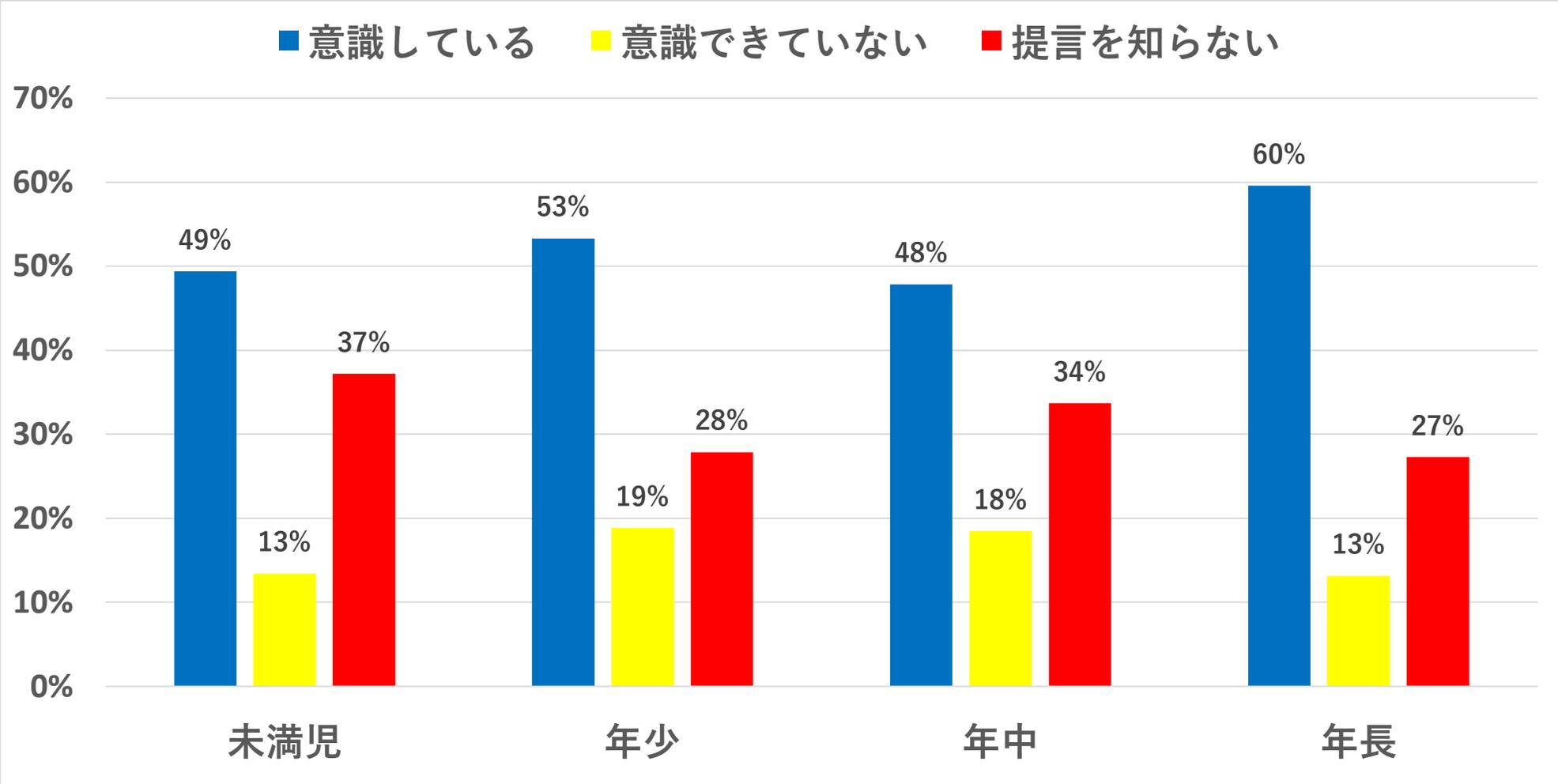
約束の内容は「使用時間」が多く、「使用場所」にも気を付けていることがわかる。約束が守れた時は褒めて気持ちよく終わりにすることが大切である。

### 問⑦タブレットやゲーム機等使用について、親から子どもへの影響が出ていると思いますか？



スマホを使いたがる子どもは、未満児から多く見られ、子どもへの影響を実感している保護者は多い。保護者はメディア機器が生活の必需品ではあるが、子どもの前では子どもとしっかり向き合ってほしい。

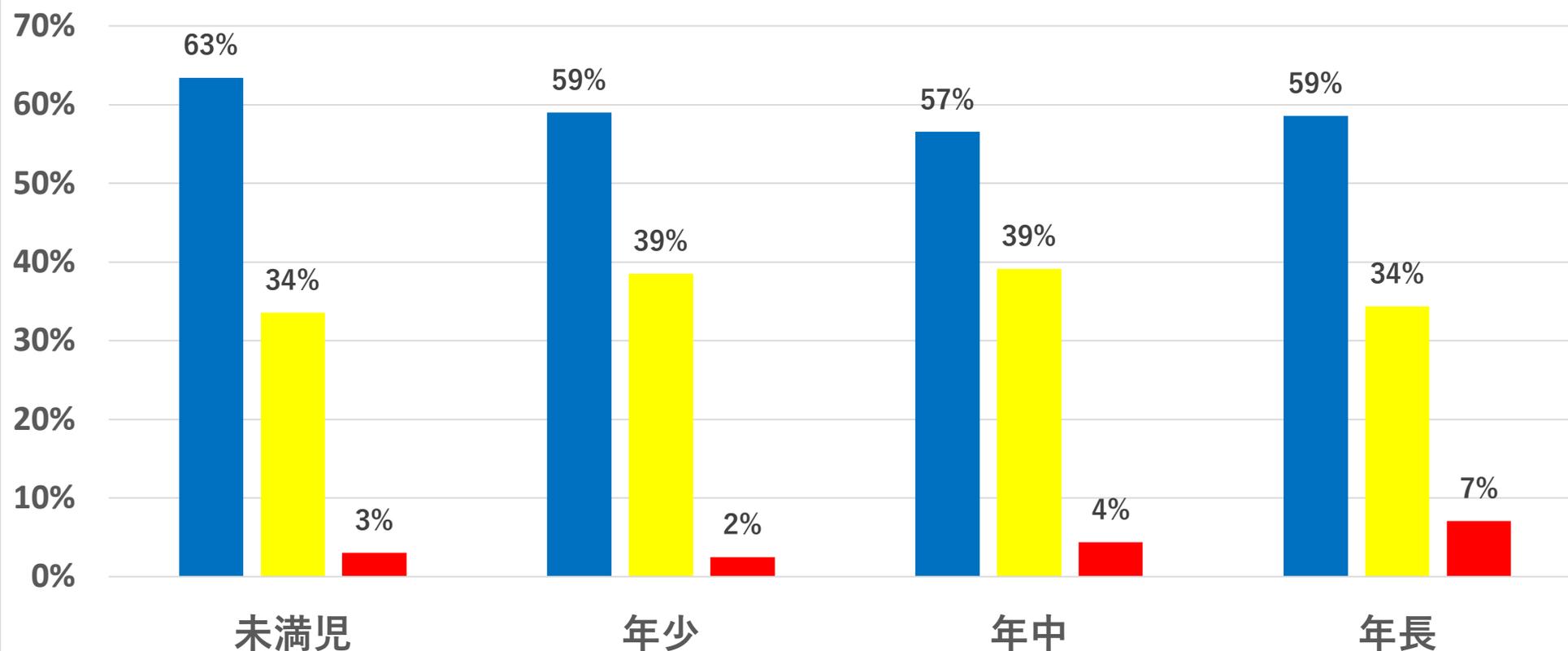
問⑧ 日本小児科医会の提言による、幼児期の子どもの電子メディアにふれる時間と目への影響について意識したことはありますか？



約3割の保護者が「知らなかった」と回答。今後も、電子メディアの長時間による幼児期の子どもの心や体への悪影響について、小児科医会などから発信されている内容などを保護者にさらに周知できるように発信し続けていく必要がある。

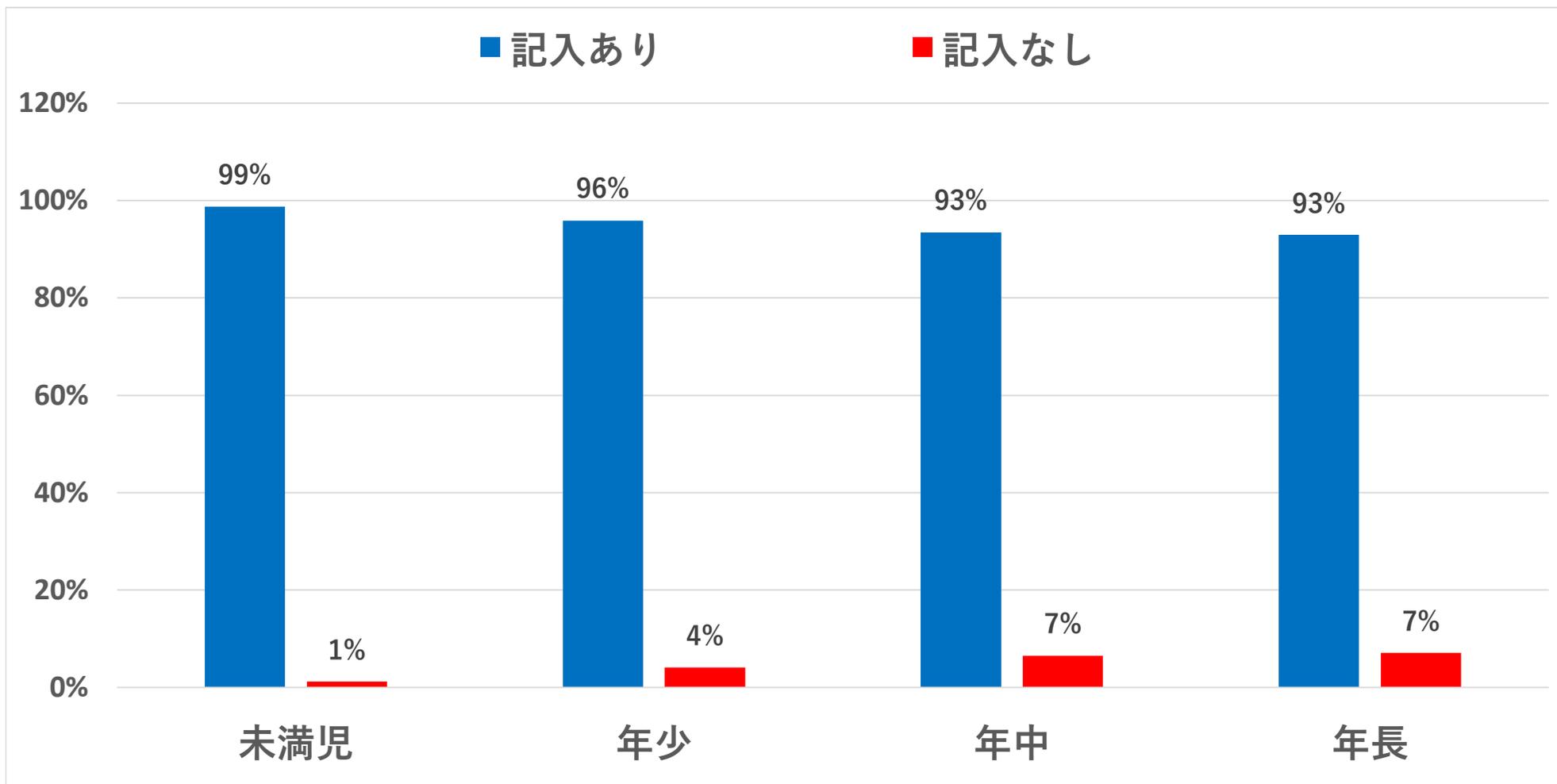
問⑨食事の時などに、テレビや電子機器の利用などに限らず、親子の対話やふれあいを行っていますか？

■ テレビなどを使わず、行う ■ テレビなどを利用して、行う ■ あまり行っていない



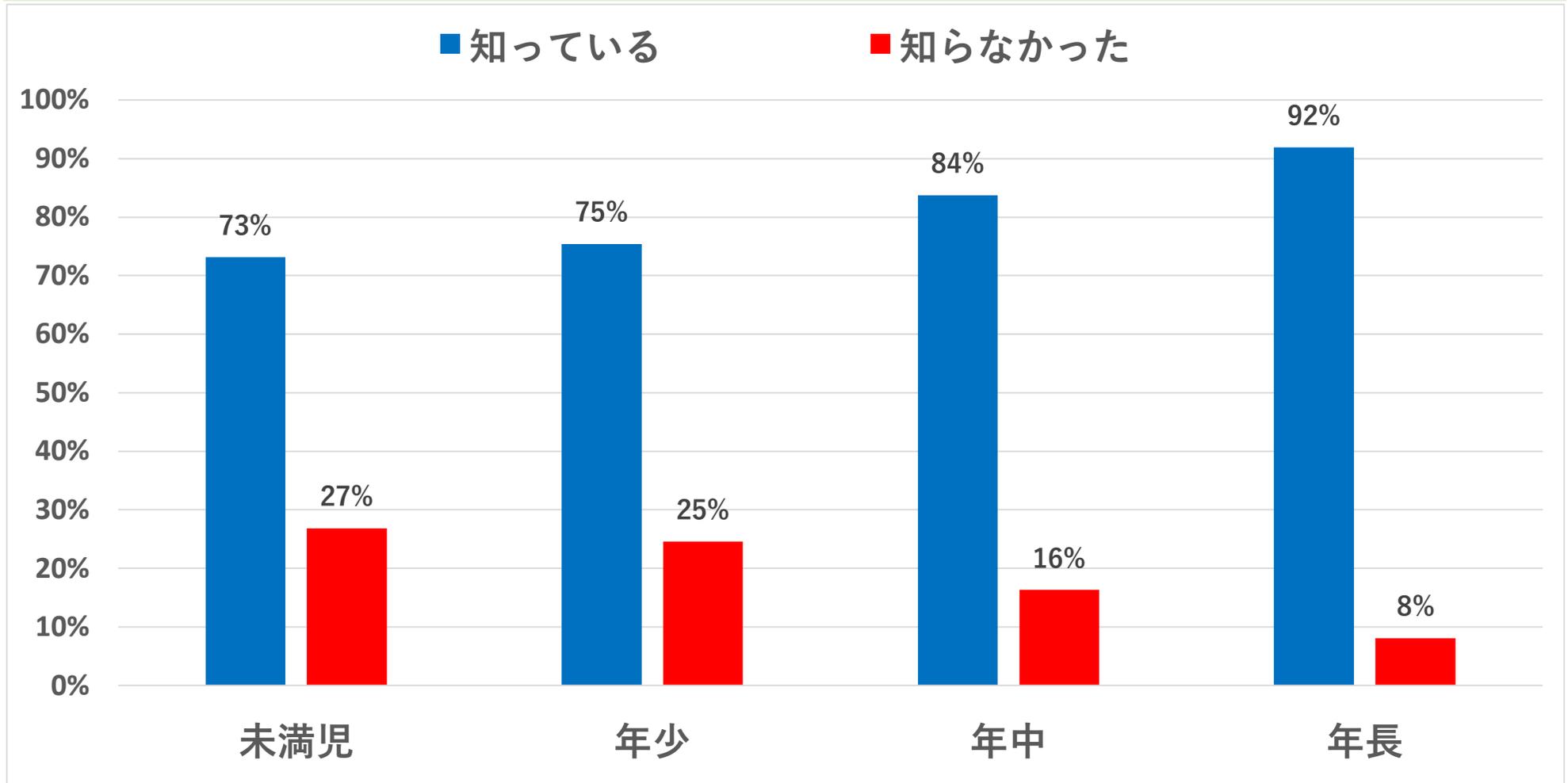
ほとんどの家庭が、食事の時などに意識を持って実践しており、大切に考えている状況がみられる。テレビなどを使わずにふれあいを行っている家庭が全体の6割前後を占め、子どもとの会話などを大事にしている様子がうかがえる。

## 問⑩お子さんの将来の夢は何ですか？親子で話し合ってみてください。



年齢が上がるにつれ「将来の夢」について親子で話し合うことが出来ている。このような話題を親子で持つこと自体が大切なふれあいの機会である。1位 警察官、2位 プリンセス、3位 消防士、4位 アイス屋さん、5位 プリキュア

問⑪野々市市では毎月第1水曜日を「NOテレビ・NOゲームデー」としています。この取り組みをご存知ですか？



月に一度、インターネットやゲーム、テレビをやめて家族でゆっくり会話や読書を楽しむ日です。保護者の7割以上が知っていて、今後も更に周知し取り組んでもらえるよう啓発を続けていく必要がある。